

1 研修会の経緯

喜多郡内の小中学校の Web ページは、平成 22 年度より、内子町の公式 Web ページの一部として開設され、運用してきた。内子町のサーバが提供する CMS は、ESnet で提供されている CMS とは異なっており、アクセシビリティの向上のための制約が多くある。そのため、コンピュータの操作に手慣れた者でも困惑する場面が数多く見られたり、担当教職員の異動により、年度当初の更新が滞ったりすることがあった。このような実態から、一人でも多くの教職員が Web ページ作成の技能を身につけておく必要がある。そこで、喜多郡では内子町役場総務課、内子町教育委員会の協力のもと、毎年、実技研修会を実施している。各校の情報教育主任や Web ページ作成担当者に限らずに参加している。

2 情報教育実技研修会

(1) 日時 平成 29 年 8 月 1 日 (火) 9:00~12:00

(2) 会場 内子町立内子中学校 コンピュータ室

(3) 対象 各小中学校の Web ページ管理者・編集者 (研修経験のない方)
各小中学校の情報教育担当者

(4) 講師 内子町役場総務課職員
内子町学校教育課職員 (教育委員会)

(5) 研修内容

① 内子町の CMS の説明

ア 講師による CMS の概略と基本操作の説明

内子町の公式 Web ページの構成と町内各小中学校がその一部であることを前提に、Web ページ作成上の留意点、および CMS の基本的な操作について説明を受けた。

イ 質疑応答

操作やアクセシビリティの簡略化、アクセスカウンター、ブログ形式での記事のアップロードなどの要望が出されたが、CMS 自体の大幅な変更を必要とする理由から、現時点での対応は難しいということであった。

② Web ページの作成実習

ア アクセシビリティについて

閲覧する全ての方に配慮した Web ページを作成するためのアクセシビリティであることを前提に、画像などの代替テキスト、音声読み上げに対応した表記方法に留意しながら実習を行った。

イ 各学校への個別指導

参加者が自校の Web ページを更新していく中で、講師や操作に慣れた参加者に操作を教えてもらったり、疑問点について質問したりしながら、CMS による Web ページ作成を初めて行った参加者も、充実した実技研修を行うことができた。

3 研修会の成果と今後の課題

CMS の導入により、Web ページの作成は以前に比べ、簡単な作業となってきた。しかし、Web ページの作成には専門的な知識や技能が必要と思われがちで、担当者が固定しがちであった。今回の研修後、自校の校内研修で取り上げ、Web ページの更新を全職員ができるようになった学校もある。今後、より多くの教員が自校 Web ページの更新に携わり、より充実した情報発信ができることに期待している。